

消費・安全部長、調整官、管理官にインタビュー

消費・安全部長の主な職歴



- H2 (入省) 農林水産省 横浜植物防疫所 国際第一課
- H11 在スペイン日本大使館 (一等書記官)
- H27 (独) 農林水産消費安全技術センター (FAMIC) (農薬検査部長)
- R3 消費・安全局 食品安全政策課 (課長)
- R5 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部 (部長)

消費・安全調整官の主な職歴



- S57 (入省) 島根食糧事務所 (当時)
- H25 中国四国農政局 総務部 人事課 (管理官)
※系統人事・研修担当
- H26 農林水産省 大臣官房 地方課 (地方企画調整官)
※地域拠点参事官室業務に係る地方農政局との調整
- H27 九州農政局 佐賀県拠点 (総括農政業務管理官)
※コメの需給調整・経営所得安定対策担当
- R4 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部 (消費・安全調整官)

消費・安全管理官の主な職歴



- S59 (入省) 岡山食糧事務所 (当時)
- H25 近畿農政局 消費・安全部 表示・規格課 (指導官)
- H31 近畿農政局 (総括農政推進官 (総括・管理)
※和歌山県担当・支局長代理
- R2 近畿農政局 経営・事業支援部 経営支援課 (課長)
- R4 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部 (消費・安全管理官)

消費・安全部長に質問

Q：スペイン日本大使館に勤務して得たものは？

A：32歳から3年間勤務しました。初めての海外勤務で、仕事や生活で、国内とは違う貴重な経験をしたことが財産です。仕事に対する視野も広がりましたし、他省庁の人達とも仕事をするので、人脈も増えました。

（ちなみに、農林水産省から、在外公館や国際機関に、多くの職員が派遣されています。）

部長と中国四国農政局6Fで撮影



調整官と食堂前で撮影



※食堂は令和6年3月29日をもって営業を終了します。

消費・安全調整官に質問

Q：消費・安全部ではどのような人材が求められていますか？

A：そうですね。業務によって求められるものは多少異なるかもしれませんが。例えば、食育ではイベント企画的な発想&実行力、7法監視では疑義解明を進める粘り強さ等々。でも一番大切なのは国民の「食の安全・安心」を守るという“ブレない気持ち”ですね。各課にはコツコツと進めている縁の下的な業務が沢山ありますからね。

PS. 当部へ配置された若手は、一生懸命育てます！！

消費・安全管理官に質問

Q：消費・安全部の魅力は何ですか？

A：消費・安全部は、主に消費者や食品等製造、販売事業者を対象に業務を推進する部署です。消費者の求める「食の安全・安心」に資する情報発信や食育の推進とともに、牛肉やあさり等の産地偽装の監視や鳥インフルエンザ等への緊急対応、更に肥飼料の安全性の確保など、幅広く国民の食生活を守るという使命感ですかね。

管理官と消費・安全部内で撮影



消費生活課 消費生活課長の主な職歴



消費生活課課長席で撮影

先輩職員にインタビュー

課長に質問

Q:他省庁で働いてみていかがでしたか？

また、その経験が今どのように役に立っていますか？

A：私は変化をあまり好まないのですが、他省庁で働いてみて、結果として知識と人脈の幅が大きく広がり、私の財産の一部になったと感じています。

振り返ると、もっと変化を受け入れ積極的に行動していれば、更に幅が広がったのではと、悔やまれるところです。

他省庁では、当然、分からないことが多々あるのですが、周辺の人に助けられ無事業務を行うことができました。

苦手分野を助け合い職員全体がスキルアップしていく職場は素敵だと感じました。

このような職場を目指したいと思っています。

係長に質問

Q：なぜ本省での勤務を希望したのですか？

また、本省での経験は今どのように役立っていますか？

A：平成29年当時の課長（本省班長経験者）から、「本省勤務を経験していると、今後の公務員人生で必ず役に立つよ」と言われ、思い切って本省勤務を希望しました。

本省では国会対応や予算関係の業務があり、地方局では経験できない貴重な体験となりました。

今の業務に役に立っていると思うのは、「人脈」ではないでしょうか。もちろん業務知識や経験も重要ですが、組織を動かすのは「人」です。本省担当者との信頼関係があってこそ、楽しく仕事ができるのではないかと考えています。

米穀流通・食品表示監視課 水産物加工食品係長の主な職歴



米穀流通・食品監視課看板前で撮影

S6 2 (入省) 京都食糧事務所 京都支所 (当時)

H19 (10月) 内閣府 食育推進室

H27 (10月) 農林水産省 (本省) 貿易業務課

H31 (4月) 東北農政局 生産部 業務管理課

R4 (現職) 中国四国農政局
消費・安全部 消費生活課 (課長)

H7 (入省) 岡山食糧事務所 総務部経理課 (当時)
※入省から10年間は、備蓄米の保管管理等の業務に従事

H29 (4月) 消費・安全局 消費者行政・食育課食品表示規格監視室 (本省に短期併任)

H29 (10月) 中国四国農政局
消費・安全部 流通監視課 (係長)

H30 消費・安全局
消費者行政・食育課調整指導班 (係長)

R3 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部
米穀流通・食品表示課 (係長)

消費・安全部農産安全管理課 肥料管理係長の主な職歴



農産安全管理課フロア内で撮影

- H8 (入省) 岡山食糧事務所(当時) 総務部経理課
- H16 (12月) 育児休暇取得(1度目)
- H17 (12月) 職場復帰
- H18 (7月) 育児休暇取得(2度目)
- H19 (9月) 職場復帰
- H20 (2月) 育児休暇取得(3度目)
- H22 (9月) 職場復帰
- R 3 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部
農産安全管理課 肥料管理係



「産前休暇」、「産後休暇」、「育児休業」とは？

産前休暇とは、6週間(多胎妊娠の場合は、14週間)以内に出産予定の職員が、出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合は14週間)前から出産の日までの申し出た期間取得できる休暇です。

産後休暇とは、出産した職員が、出産の日の翌日から8週間を経過する日までの期間(産後6週間を経過し、医師が支障がないと認めた場合は勤務可能)取得できる休暇です。

いずれも有給の特別休暇となります。

育児休業とは、子の3歳の誕生日の前日まで休業することができ、また配偶者の就業等の状況にかかわらず取得することができる育児のための休業です。取得は、原則として同一の子について2回まで可能です。

係長に質問

Q：係長は育児休業を取得されていますが、取得するにあたり（制度や職場環境など）感じたことはありますか？

A：私は4人の子供を出産後、それぞれに育児休業を取得し、制度を活用して来ました。担当班・所属課の皆さんの多大なるフォローをいただきながら毎回それぞれの子どもに納得いくまで向き合い、職場復帰させていただきました。

産後、子育てに専念できる時間を得たことで、仕事と育児の両立についてや自分の将来設計などしっかり考える好機にもなっていると思います。

そして何より出生後、毎日急激に変化していくわが子の成長ぶりを感じながら自らも少しずつ母親になっていく経験が、仕事と育児の両立を頑張っていこう！と思う力になっているように思います。

いまだ育児に奔走中ですが、気持ちよく制度を活用させていただいた職場環境には今でも心から感謝しています。

係長に質問

Q：今までたくさんの異動を経験され、新しい環境や仕事の変化により多少の不安やストレスがあったかと思います。

不安やストレスと上手に向き合うための秘訣について教えてください。

A：都内で生まれ育ち農林水産業とは無縁の生活を過ごしていたため、協同組合や農林漁業者とのやり取りは分からないことばかりで本当に苦労しました。若い頃の現場回りは辛い思い出で一杯です。

今でも不安やストレスはありますが「職場は組織、皆で分担」と考えて一人で抱え込まなくなってから、気持ちが楽になりました。ストレス発散のため、可愛い奥さんとドライブで直売所やご当地グルメを巡り、職場でお土産配りをしていたら、いつの間にか土地勘や知識も増えて、県職員や関係者の皆さんと話すことが楽しくなりました。週末のドライブや買い物は仕事のネタの宝庫。もっと現場回りしたい。農政局の仕事を通じて変化する自分を自分が一番楽しんでいます。

畜水産安全管理課 畜水産安全係長の主な職歴



着物の日 (R5.11.21)

着物の日とは？

きものは「和の文化」の象徴であり、和装振興は、和食も含めた「和の文化」の継承や畜産の振興につながることから、農林水産省では、毎年11月15日の「きもの日」を中心に、職員がきもので出勤する取組を実施しています。

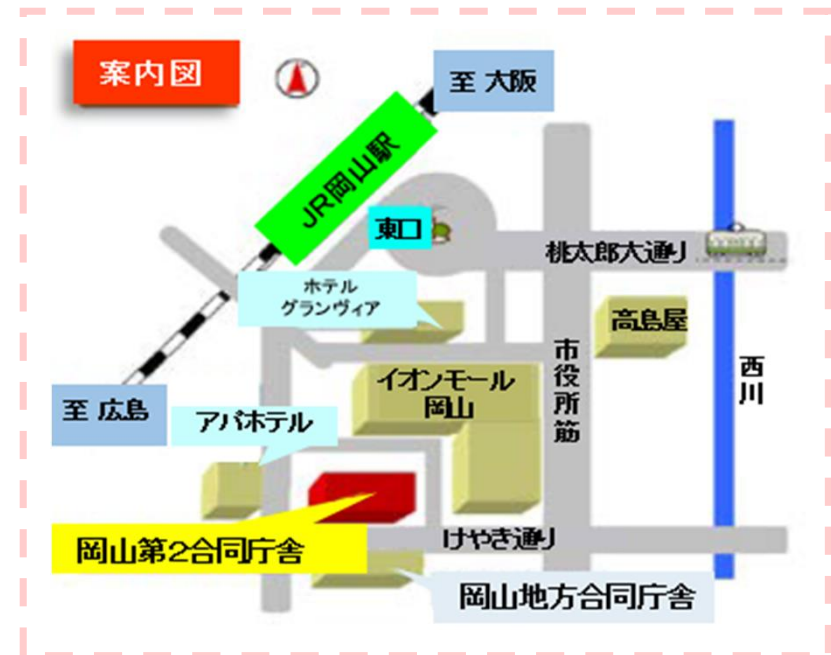
- H12 (入省) 経済局 統計情報部管理課図書資料室
※農林水産省図書館
- H18 大臣官房 統計部生産流通消費課
- H22 北海道農政事務統計部統計企画課
- H24 独立行政法人 家畜改良センター
※個体識別部 (情報提供担当)
- R3 (現職) 中国四国農政局 消費・安全部
畜水産安全管理課 ※家畜防疫担当

採用に関する情報はこちらから！

中国四国農政局 採用

ポチっと検索！

<https://www.maff.go.jp/chushi/org/recruit/index.html>



所在地

〒700-8532

岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

アクセス

JR岡山駅より南へ徒歩10分

